

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 028	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 ベンチマーキング可能な畜産経営支援システムの開発 (特に養鶏)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 畜種を問わず、実際の農場の状態を観察し、経営判断をすることが重要で、経営の見える化を助けるベンチマーキングが着目されており、さまざまな経営指標や経営支援システム等が利用されている。特に、養豚では生産者同士の横のつながりが強く、農場間ベンチマーキングの活用も進んでおり、さまざまなシステムが利用されている。しかし、養鶏においては全国的にも取り組みが少なく、本県においても経営分析が停滞しているのが現状である。 そこで、養鶏において、EXCEL 等を用いて簡易に複数の経営で共通利用可能な経営支援システムを開発し、現地で経営分析を実施、最新の経営指標を検討し、ベンチマーキング可能な支援体制を構築してほしい。 また、システムの開発にあたっては、特に直売の小規模養鶏経営の多い本県の実情も考慮し、マーケティング対応も可能なシステムをお願いしたい。 なお、先行して養鶏での開発をお願いしたいが、マーケティング対応の部分について、より良い成果が得られた場合は、長期的には他の畜種での応用も検討してほしい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	養豚では、(独)動物衛生研究所と日本養豚開業獣医師会で共同開発した「PigINFO」によるベンチマーキングシステムを構築しています。このシステムでは参加農家が3カ月おきに専用様式でデータを送付し、それを動衛研で集計、分析を行いフィードバックしています。養鶏では、生産管理ソフトを飼料会社から主に飼料購入者向けに提供していますがベンチマーキングシステムはありません。県内の養鶏農家で同様なシステムを構築するためには、生産規模別に一定程度の参加農家が必要ですが、養鶏農家でベンチマーキングによる経営改善を希望する戸数を現状把握していません。養鶏農家への希望を集約したうえで、試験研究課題として今後取り組むか検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			